



# 5 捜査官キョウカ

不感症の反動でイキやすくなったカラダ

## あらすじ

痴漢囹捜査官・鈴峰杏花は  
これまでいくつもの痴漢を検挙してきた  
凄腕の捜査官だった

彼女は捜査官としてのスキルや美貌にくわえて  
不感症であるという  
痴漢囹捜査官として最大の利点をもっていた



今まで感じたことのない快楽の衝撃に戸惑わされ  
何度もイカされ

痴漢囹捜査の最中に挿入されて  
何も考えられなくなるほど  
頭を真っ白にされながら中出しされるという  
最悪な失態を犯してしまう

それはこれまで完璧に任務を遂行してきた  
鈴峰杏花にとって  
人生最大の屈辱だった

しかし…  
とある囹捜査の途中で  
怪しい男に遭遇する

その男の不思議な力によって  
不感症だったはずの鈴峰杏花の体は  
眠っていた性的な快感を  
呼び起こされて…





それからというもの  
鈴峰杏花のカラダはすっかりと  
変わってしまった  
不感症だったカラダは  
日を追うごとに敏感になっていった



ひとたび痴漢にカラダを触られると  
カラダは熱く火照って力が入らなくなり  
なすすべもなく犯される  
そんな屈辱的な日々が1年近く続いた



ただ：  
どんなに気持ちよくさせられても  
一度もイカされなかったこと  
それだけが痴漢囹捜査官としての  
最後のプライドだった



何なの…この男!!

今までのどんな  
痴漢たちよりも…

的確に…  
イイところを突いてきて…!!

しかし1年後  
バスの中で  
ついにあの男に遭遇して

これまで1年間  
痴漢され続けて  
カラダに蓄積されていた  
快感が一気に爆発して



気持ちい…!!  
ついには気持ちイイことを  
認めさせながら  
イカされてしまった…



# 痴漢 四捜査官キョウカ

## 第5話

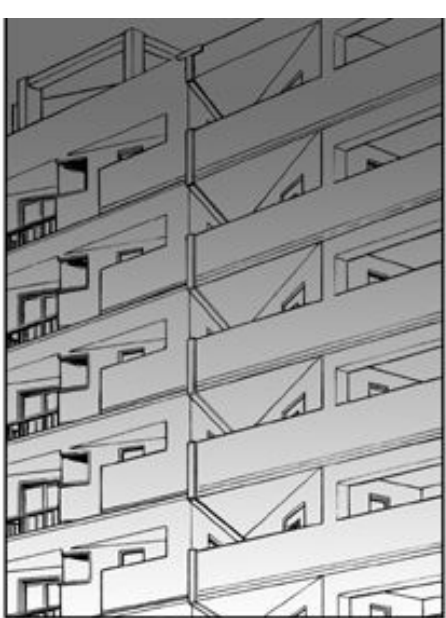
不感症からの反動で  
イキやすくなってしまった  
カラダ



それでも

痴漢囮捜査官としての  
プライドまでは  
捨てたつもりはない

ヒ  
ア  
ア



私は…

あの男に  
負けてしまった…

ヒ  
ア  
ア



私は今までどおり  
痴漢たちを  
捕まえていく

そのつもりだった



痴漢は悪

たとえ体は  
不感症じゃ  
なくなつたとしても



海岸沿いのバスに  
出没する  
胸ばかりを触ってくる  
痴漢の情報を受  
け取った私は

さっそく  
囿としてその場所  
に向かった



あの時は  
鉄柱に手を拘束されて

何時間も胸だけを  
しつこく触られて



胸ばかり  
触ってくる痴漢…

1年前のあの痴漢を  
思い出す…

何もできなかった…



結局  
捕まえることも  
できなかった



いきなり挿入してきた  
中年男…



〇〇線の  
痴漢グループ…



この1年間…

いろんな奴らに  
いいように弄ばれて…



私を監禁した  
痴女の集団



プールで遭遇した  
強引な輩たち…



このままじゃ  
終われない

全員  
忘れてはいない！

絶対に  
許したりはしない！

必ず一人残らず  
捕まえてやる…！！



見つけた...!!

あの男...!!



痴漢は原則として  
現行犯逮捕しかない

一度  
触らね...

そしたら  
すぐに逮捕  
になる...



間違いない...  
あいつは...!!

一年前に  
私に痴漢してきた  
あの男...!!



周囲の警戒  
背後の警戒を

完全に  
怠っていた



私は目の前に  
憎むべき相手  
を見つけて

気持ちが  
昂ぶりすぎて





胸をもまれて  
わずか数秒

本当に一瞬で  
私のカラダは  
ダメな状態に  
なってしまっ...



長年の  
不感症を偽装してきた  
反動だった

私のカラダは  
快感に対して

まるで抵抗力がなくなって  
しまっ...



乳首のあたりを  
触られただけで



カラダの力も  
抜けて



綿密な逮捕の計画とか  
全部が真っ白に  
されてしまつて



ギシギシ  
ギシギシ

気づいたら  
座席に手を拘束  
されていて…

痴漢たちの  
ペースになって  
しまつて

もう  
そこからは  
完全に



これじゃまた  
何もできない！

……!!

しまった…!

何で…私は  
いつも…!!  
こうなつて  
しまつんだ…!

1年前  
○○のバスで  
遭遇した美女だよな

アンタのこと  
覚えてるよ



もう  
こうなってしまうたら  
どうすることも  
出来なかった

へへへ…  
もっと気持ちよく  
してやるよ

バスの座席に  
手を拘束された  
私は

……!!

こゝ

ヌル



1年前と  
同じ相手に

1年前と  
同じように…

ヌル

ヌル  
ヌル  
ヌル

ただ  
ひとつ違って  
いたこと

それは

1年前は  
どんなに感じて  
イクことは  
無かったけど

今は…





バキッ

バキッ

ひひひ  
ひひひ

ひひひ  
ひひひ

バキッ





こんな美人で  
おっぱいデカくて  
乳首でイクなんて  
サイコーじゃあ  
ないっすか？

そのまま  
私は胸を  
1時間近く

オイルでぬるぬるに  
されて弄ばれ続けて…

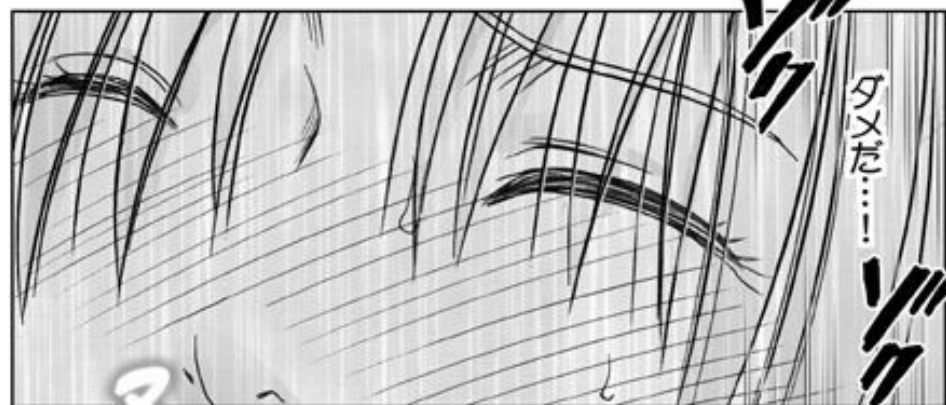
カラダの反応は  
止められなかった

反応がよく  
すぐにイッてしまう  
私の胸は  
男たちの格好のオモチヤに  
なりさがってしまっていた

やっべー  
乳首イキ  
エロすぎ♪



この痴漢を  
懲らさないとダメなのよー！



ダメだ…！



こんな反応したら

イッたりしたら



ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ビュッ

ブル  
ブル

ブル  
ブル

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ



ああ…ダメだ…!

イカれねえよ

瞬間  
頭が真白になって

何も出来なくなつて…!

ほあ

ほあ

カンタがますます  
鋭敏になつて…!

ほあ

あわあわ

ほあ

ほあ

ほあ

触られ続ける  
まだ連続で…!

本当に  
気持ちよすぎる  
何も出来ない…!

もっもっ  
何も…!

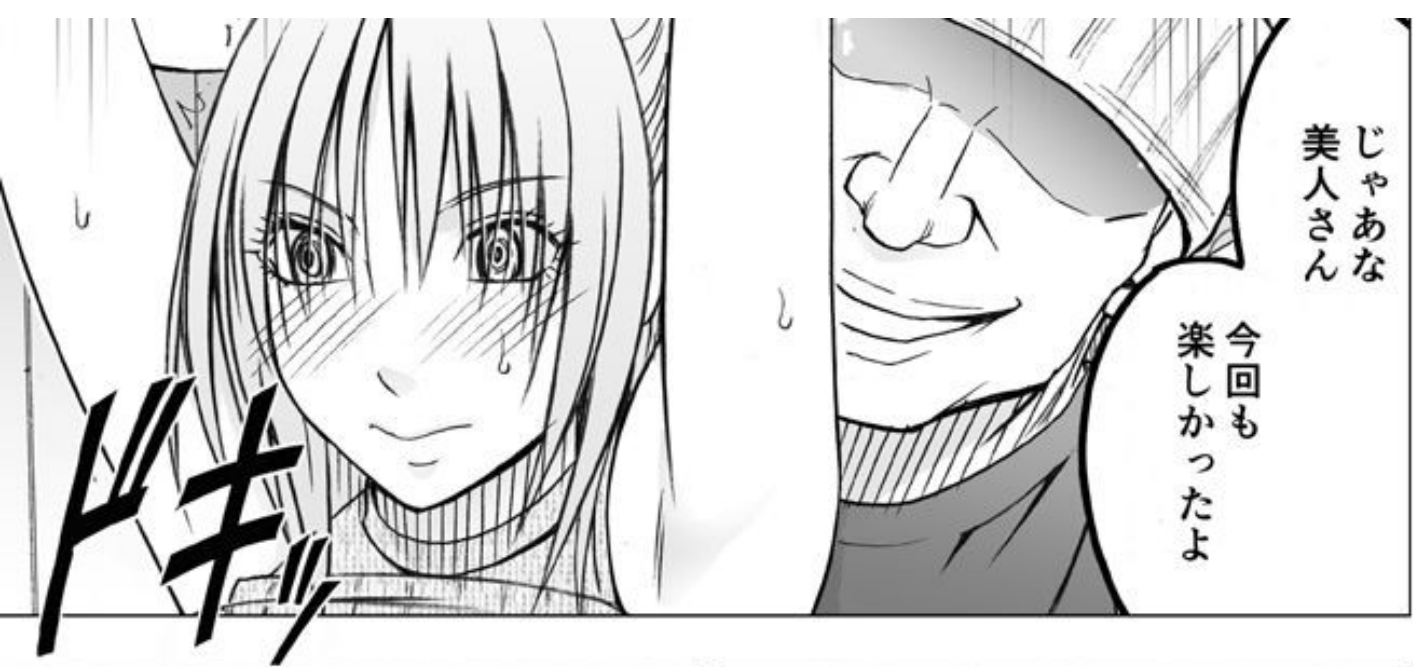
ほあ

ダメだ…  
このままじゃ…

このままじゃ私…

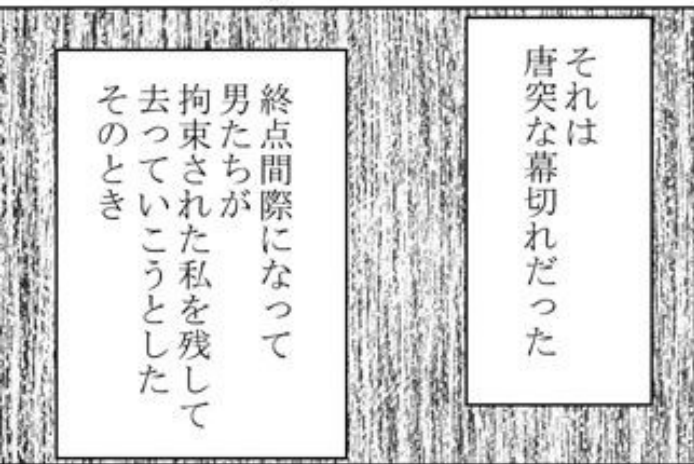
ほあ

ほあ



じゃあな  
美人さん

今回も  
楽しかったよ



それは  
唐突な幕切れだった

終点間際になって  
男たちが  
拘束された私を残して  
去っていきこうとした  
そのとき



えっ…!?



これで…!?  
え…!?

ちよっ…  
ちよっ…待って  
終わり…!?



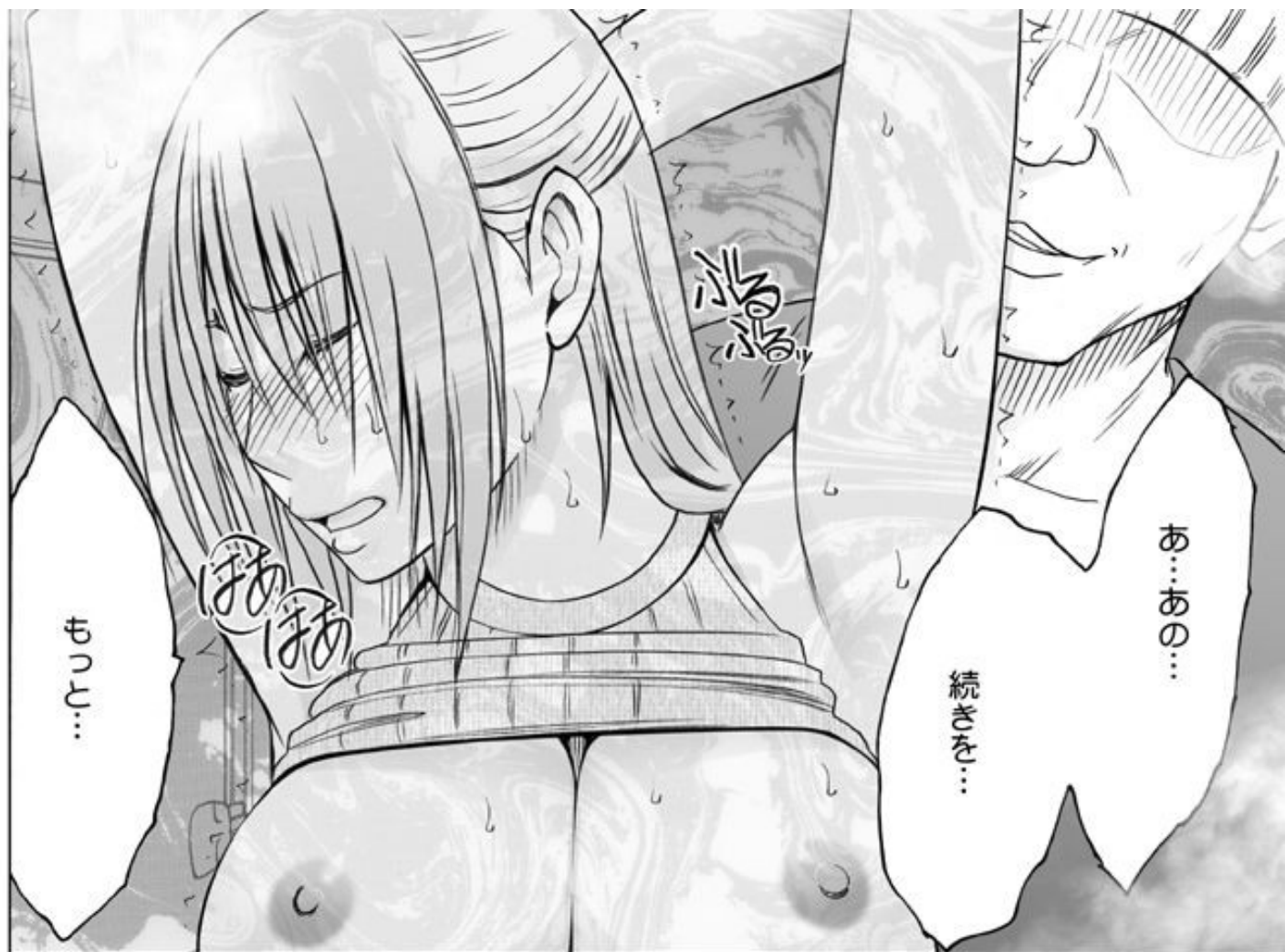
私はとっさに  
口にした



ま…待って…

うっ…!?

あ…  
うっ…!?



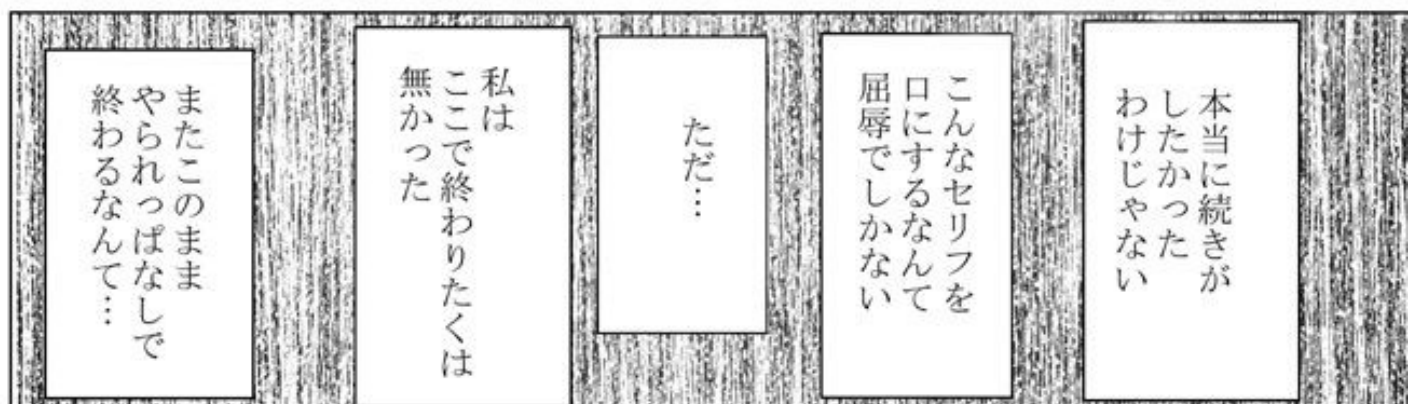
もじり…

ほあほあ

びびり

続きを…

あ…あの…



またこのまま  
やられっぱなしで  
終わるなんて…

私は  
ここで終わりたくは  
無かった

ただ…

こんなセリフを  
口にするなんて  
屈辱でしかない

本当に続きが  
しかなかった  
わけじゃない



だから  
これは作戦—

あえて相手のペースに  
はまったと認識させて

相手を油断させて  
それから  
隙を見て捕まえる

これは…

そういう作戦…!!

私がもう  
堕ちたのだと  
思い込んだ男たちは

そのままバスを降りて  
私を自分の家に  
招き入れた

うまく自宅の住所を  
突き止めることに  
成功した

そこまでは  
良かった

でも  
用心深い男たちは

へへ…  
この敏感  
美巨乳で

思う存分  
遊ばせて  
もらおうか

部屋に入るなり  
私を拘束して…







バスの中で  
やってたときより  
気持ちいいこと  
してやるからよ

ヘンタイ男たちは  
ひたすら胸を  
弄んできた

おっ!  
さっそくもう  
イキそうだな



逃げられない

助けを呼ぶことも  
できない

胸を弄ぶための  
さまざまグッズも  
使われ

イカされまくって



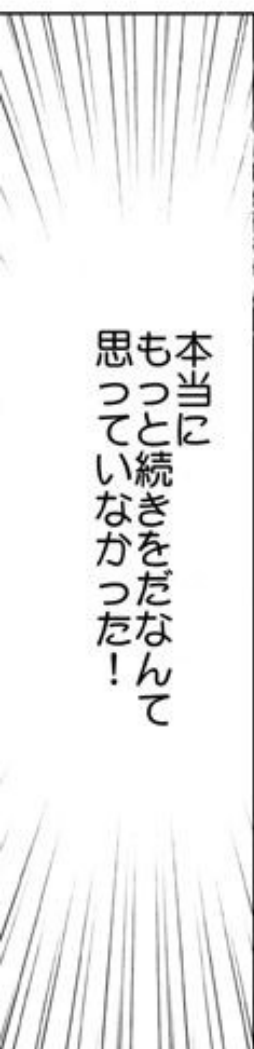






違う…!  
私は…

気持ちよく  
なりたいたなんて…!

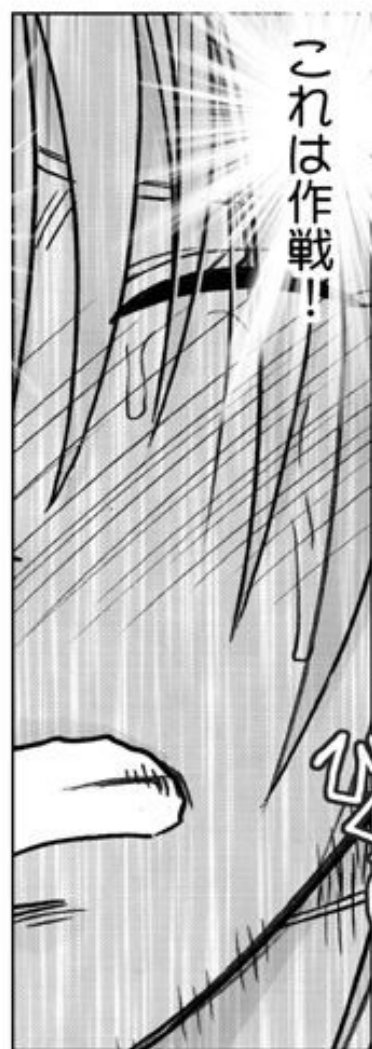


本当に  
もっと続きをだなんて  
思っていなかった!



相手を油断させるための

わざと演技しただけ!



これは作戦!!

びしょ





そのまま  
私は6時間近く

さまざまなグッズで  
乳首を責められたり  
媚薬で敏感にされたり

お前さん  
とめえさん  
とめえさん

お前さん  
とめえさん  
とめえさん

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

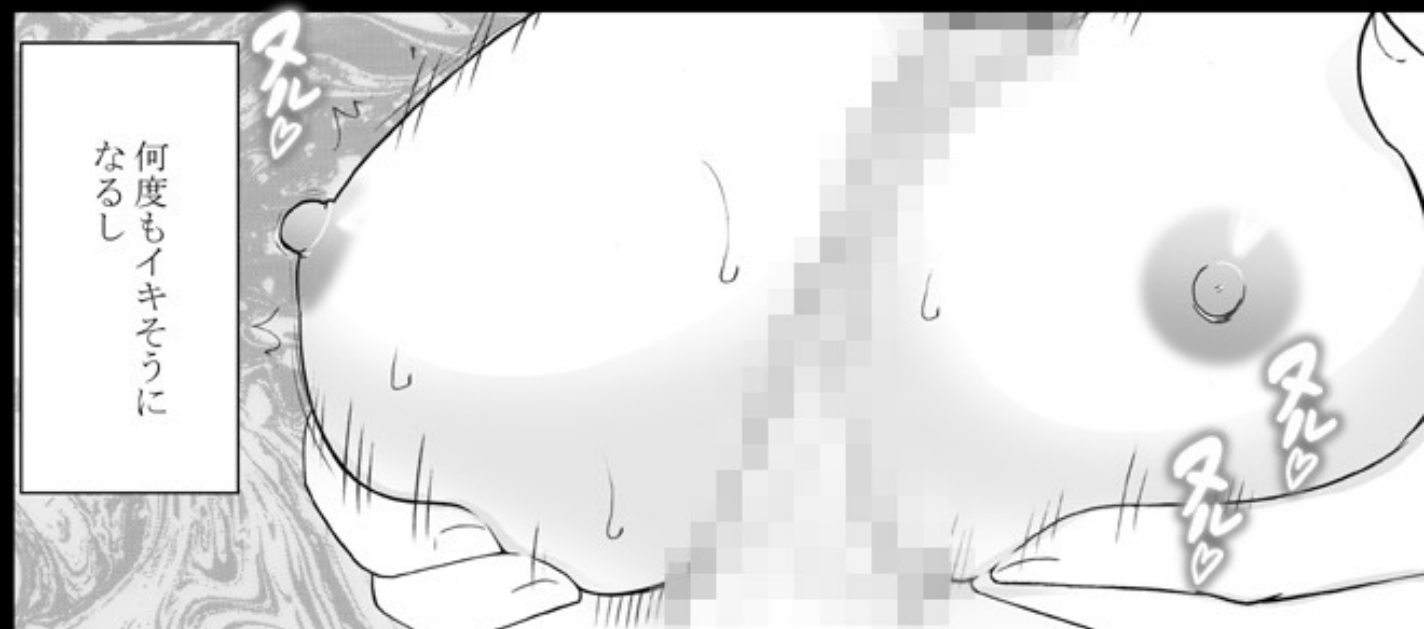
ズンズンズン

ズンズンズン



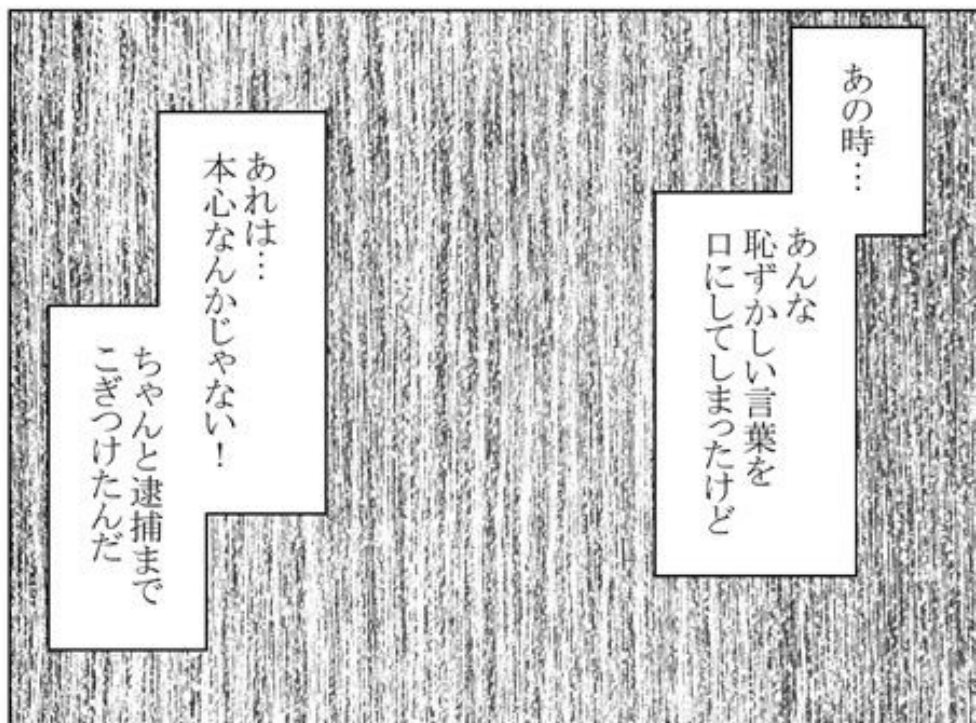
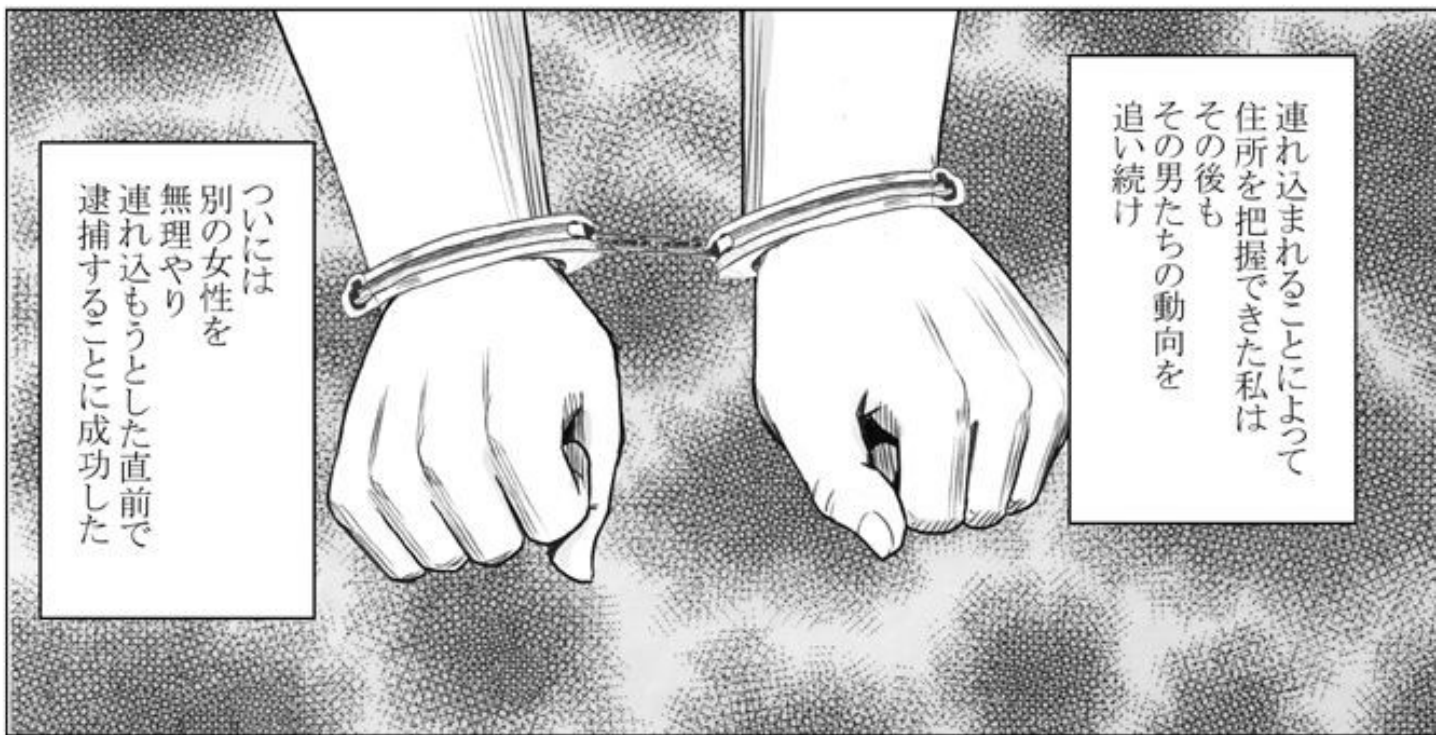
敏感になりすぎた  
胸は  
男のモノを  
はさんでこすられるだけで

へへ…  
パイズリしながら  
イツてやがる



何度もイキそうに  
なるし





次のターゲットは

大型レジャープールで  
多発しているという  
集団痴漢事件だった

これも  
おそろく

1年前に私が  
遭遇した集団と  
同じやつらのはず…

もう2度と  
同じ過ちは  
繰り返さない

今度こそ  
全員捕まえて…

あのときの  
屈辱を晴らす……!





入念な準備と  
計画をしてきた

はずだった



いざというときの  
催涙スプレー

逃走経路の確認

背後の警戒



でも...

は〜い♪  
極上の美女  
GET〜♪

ね〜ね〜  
オレたちと  
イイコトしよっかw

何 この美人?  
モデル? 芸能人?



あれ？  
もしかして…

あゝお姉さん  
前にあったこと  
あるよねゝ

今回も  
ダメだった…

あゝ思い出した  
あの超エロい  
お姉さんだ♪

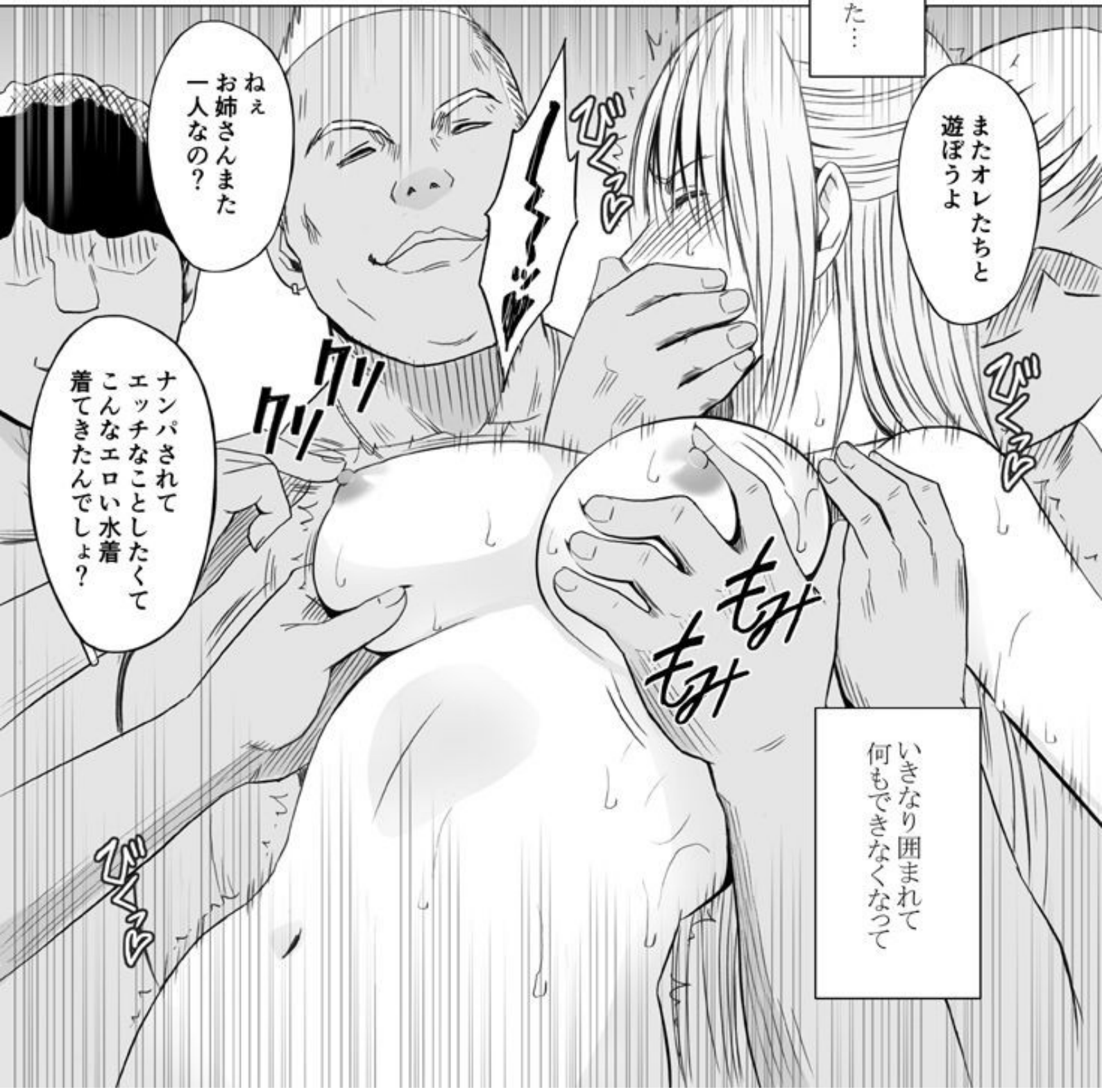
うわゝ  
会いたかったよゝ

またオレたちと  
遊ぼうよ

ねえ  
お姉さんまた  
一人なの？

ナンパされて  
エッチなことしたくて  
こんなエロい水着  
着てきたんでしょ？

いきなり囲まれて  
何もできなくなつて





めめ…タメだ…

ブルン  
ブルン

ブルン  
ブルン

乳首が敏感になった  
ままだから…!!

この前のあいしつら  
やられすぎたせいで



アイッ



ほっ♡

ほっ♡



乳首スゲー  
敏感じゃん♡

こっちも  
舐めちゃおう



感じる場合じゃ  
ない…!

早く何とか  
しないよ…!

また「インソムニア」  
無茶なジョブを  
やられてしまっ…!



ダメだ……!

ダメだ……!

こんな……  
まだ責められ始めて  
一分もたつてないの……!



イカされる……!



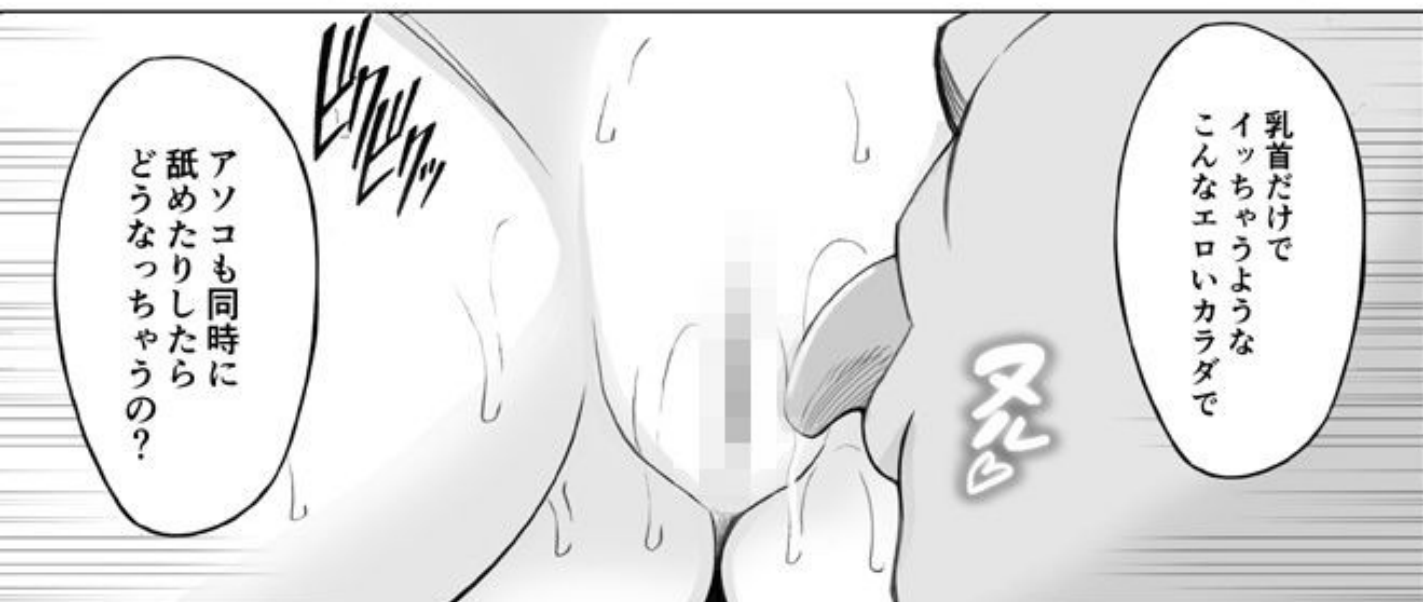
もう……ダメ……!

また……何も出来ず……!



イク……!











.....!!



イッた  
イッた♪

何でそんな  
イキまくってるのに  
悔しそうな顔してるの？

フッフ



マゾなの  
お姉さん？

無理矢理されるの  
好きなの？

アム



ほろほろ  
ナカでも  
イッちやえよ

ああっ!!

そこはダメミー!!

また...イク....!!

クワッ

クワッ

クワッ



おっしりのカラダじぎ...

イカされるのをとめられないー！

ズン

ズンズンズンズン

ズンズンズンズン

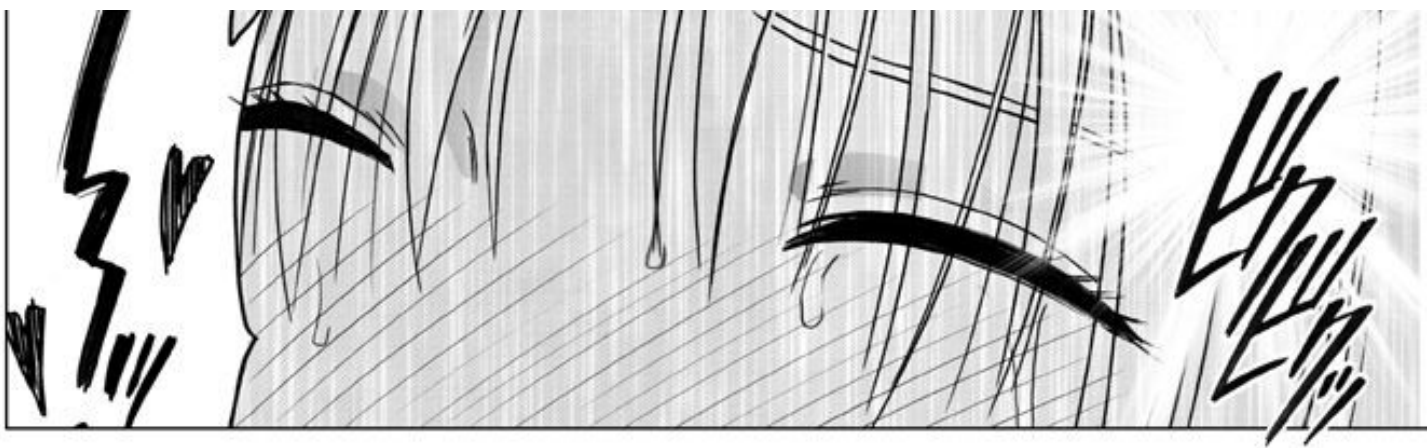


無理矢理  
入れられて  
イカされて

無力だった

力もまともに  
入らないし

頭もまともに  
思考することが  
できなくて…





ちよつとちよつと  
オネーサン  
何回イッてんの？

ワス  
ワス  
ワス

そんなヘタクソな  
男のチ●ポで  
イッたらダメだよw

しゃぶッ♡

Yvva Yvva

びんびん

びんびん

アッ



もう…  
まともに  
抵抗するのは  
無理…

でも…

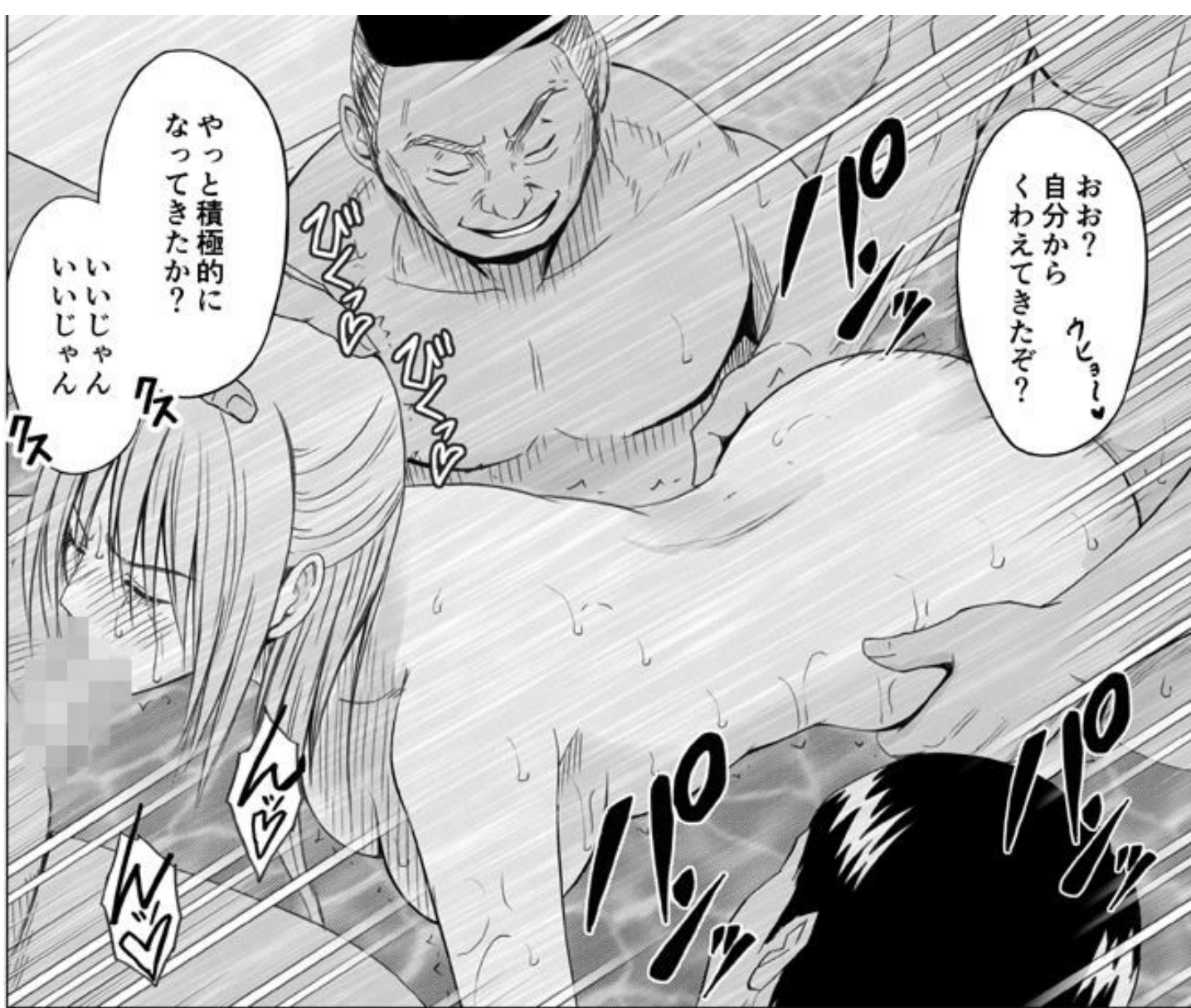
たとえ抵抗  
できなかつたと  
しても

まだ  
手はある…!

この前みたいに  
わざと  
従順なふりを  
すれば…

情けないけど

もう  
それしかない!



おお？  
自分から  
くわえてきたぞ？

やっと積極的に  
なってきたか？

いいじゃん  
いいじゃん

びしょ  
びしょ

びしょ  
びしょ



そんなに  
チ●ポが  
欲しくなって来たの？

びしょ  
びしょ

もう完全に  
オレらの  
モンだなこりゃ♥

口の中に  
出してやるよ

びしょ  
びしょ

びしょ  
びしょ







プールに  
併設された  
宿泊施設の部屋に  
連れ込まれて…

そのまま私は



ホテルで  
もっとじっくり  
やっちゃおう？

どうする？  
このままココで  
続けるよりも



まわ  
輪姦されて…

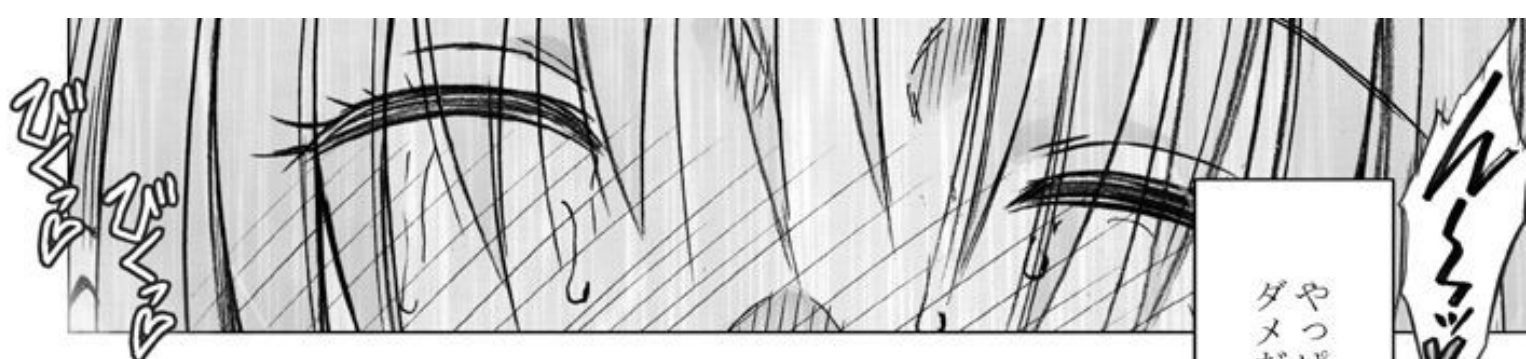
びびり

びびり

びびり

びびり

びびり



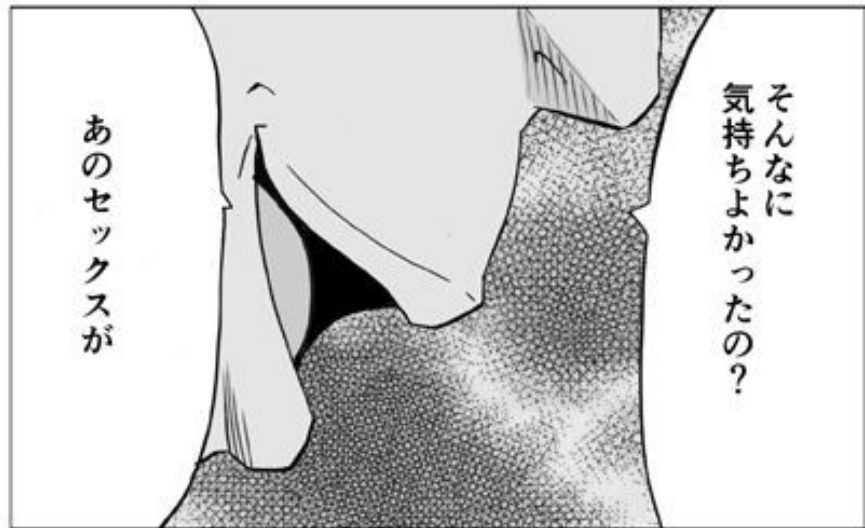
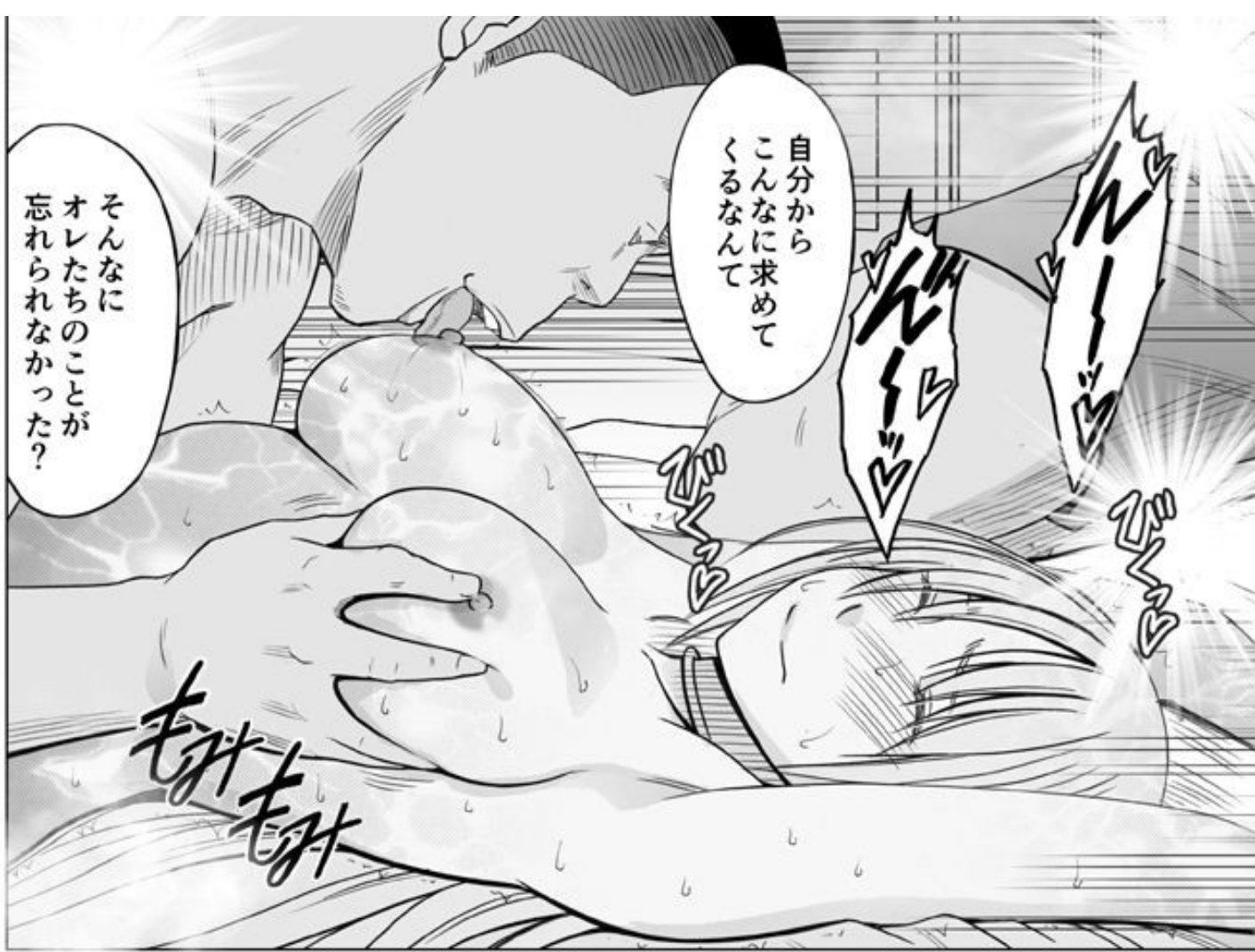
やっぱり  
ダメだった



周りの目が  
無くなったことで  
有利になったのは  
男たちのほうで

太い肉棒を  
挿されっぱなしの  
カラダは  
ビクビクするだけで  
全然思い通りに  
動かないし

反撃する隙なんて  
まったく無くて





違う…!!

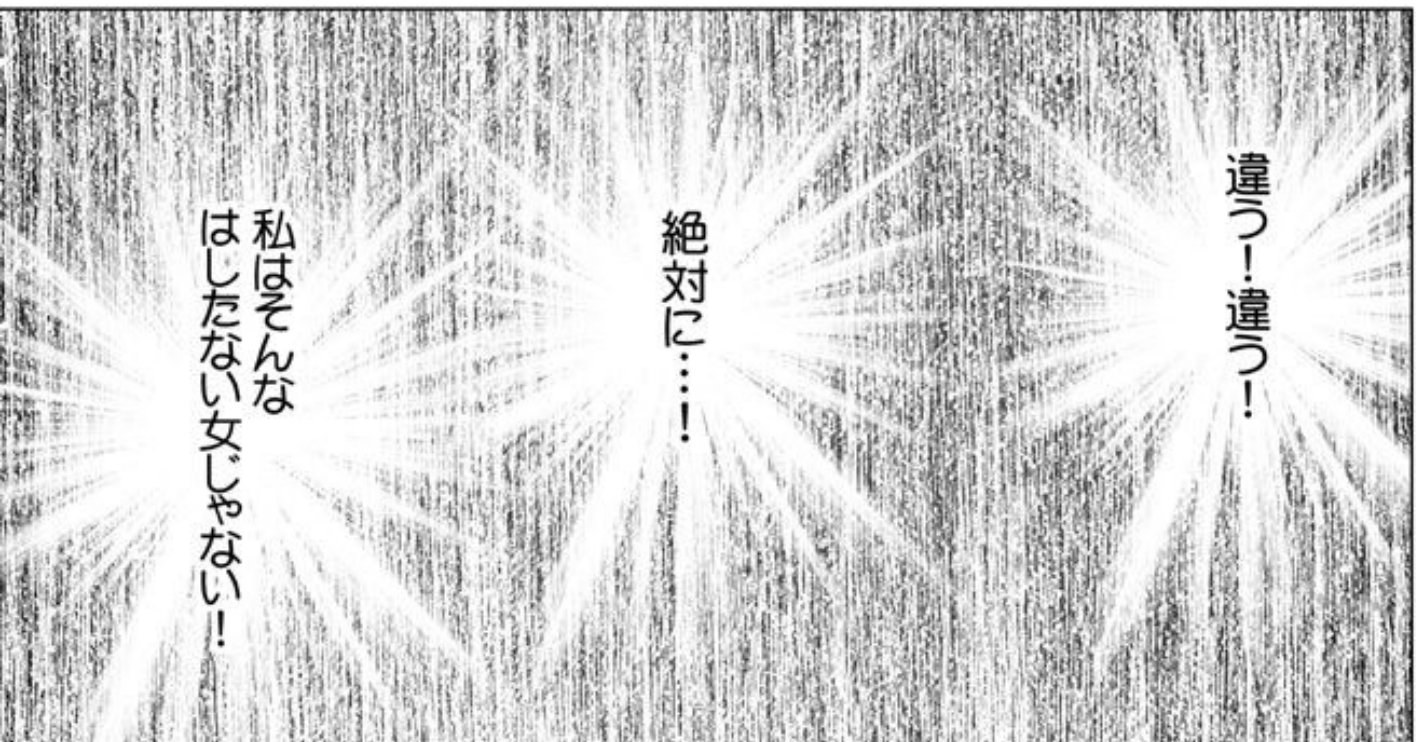
私は…

快感を求めているわけじゃない!!



またあの時みたいに犯されたくて

痴漢団捜査をやってるわけじゃないんだ!!



違う!違う!!

絶対に…!!

私はそんなはしたない女じゃない!!



私はこんな下劣な  
快感なんかには負けない!!

あれ?  
怒った?

オイオイ  
言いすぎたんじゃね?

何いままら  
暴れてんのw

ぐわんぐわん  
ぐわんぐわん



大丈夫大丈夫  
どうせ抵抗してても  
乳首舐めとけば  
イッちゃうんでしょ?



結局  
その場にいる  
全員が飽きるまで

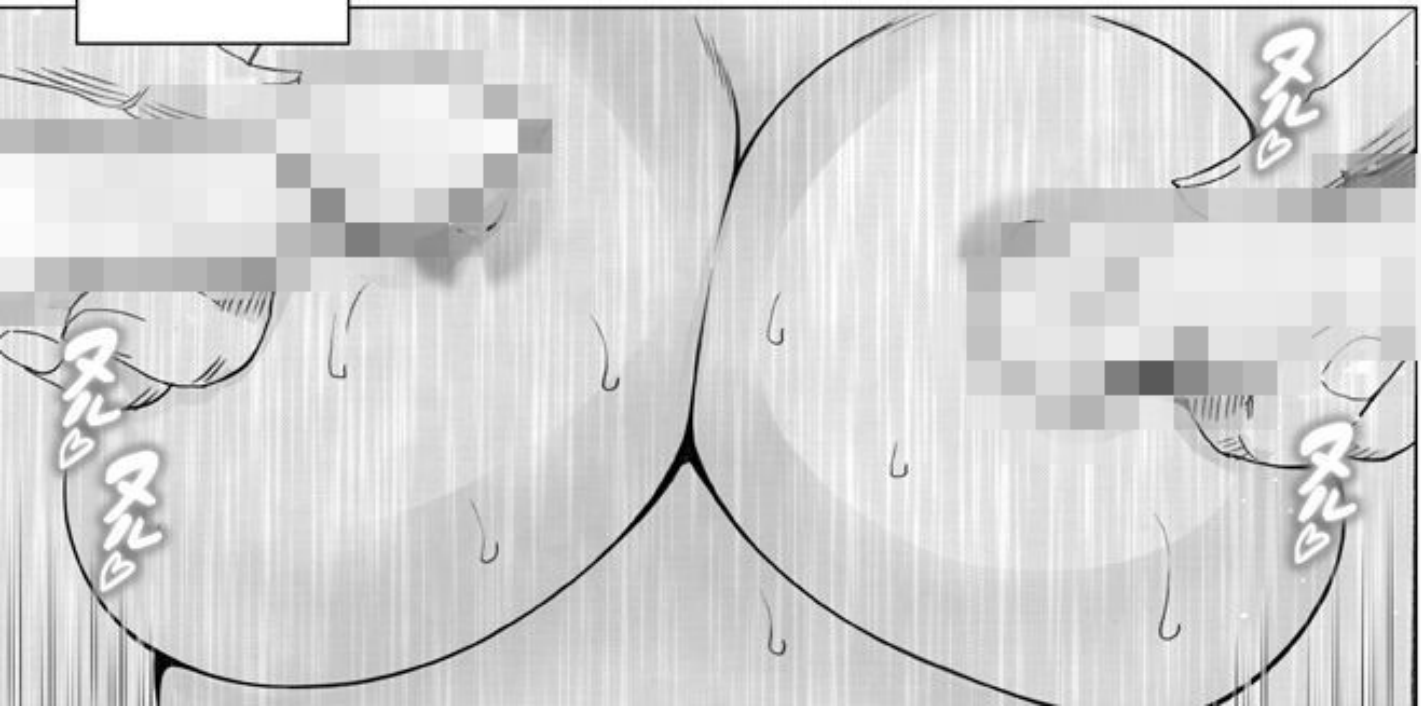
何時間も  
犯され続けて  
イカされて…





また...  
ダメだった

復讐にきたはずの  
相手に  
また犯されることは  
屈辱でしかなかった



じゃあ  
これで  
ラストね〜

ありがとね〜  
淫乱美人さん  
気持ちよかったよ〜

びゅんっ

最後は  
両手両足を縛られ  
自力では絶対  
脱出できない状態で

全員分の欲望を  
ぶちまけられた…

また  
遊ぼうね〜

びゅんっ



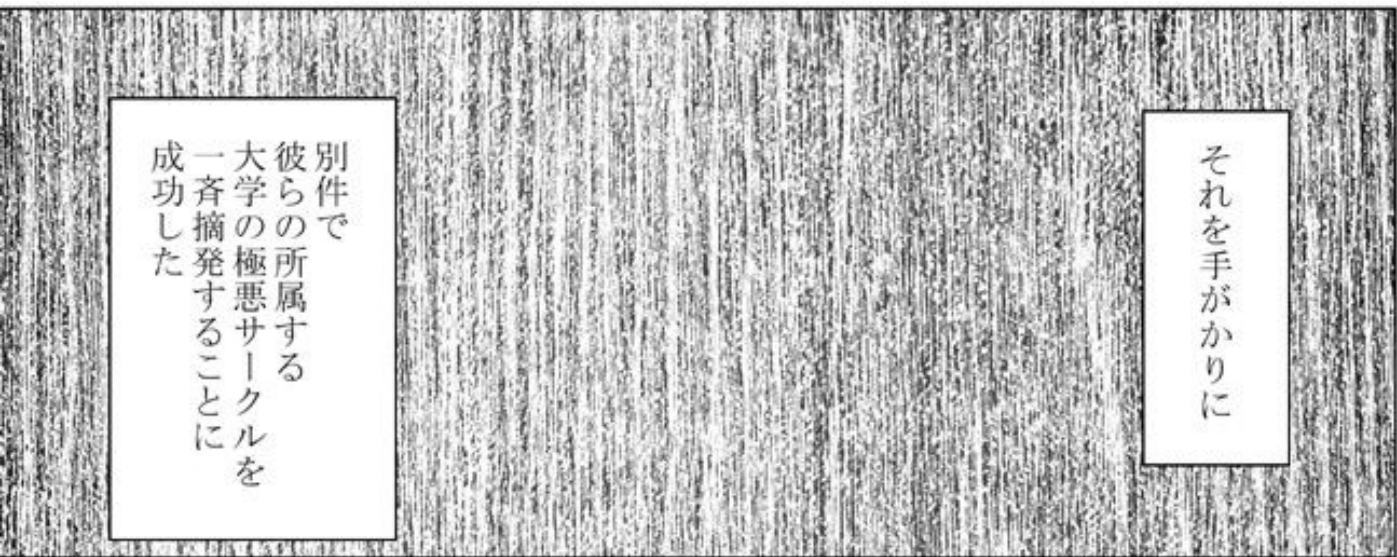
私とまた  
遊びたいという男と

連絡先を交換することに  
成功して…



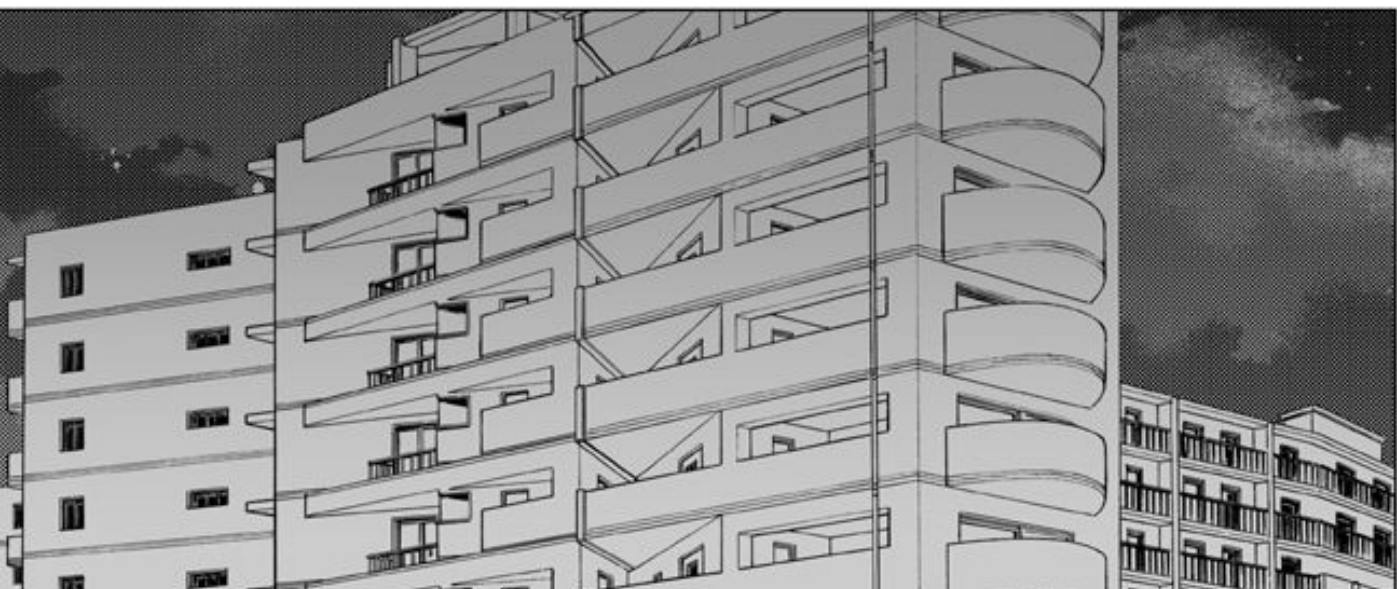
それでも  
今回はそれで  
終わらなかつた


従順になった  
フリをしたことが  
功を奏した



それを手がかりに

別件で  
彼らの所属する  
大学の極悪サークルを  
一斉摘発することに  
成功した





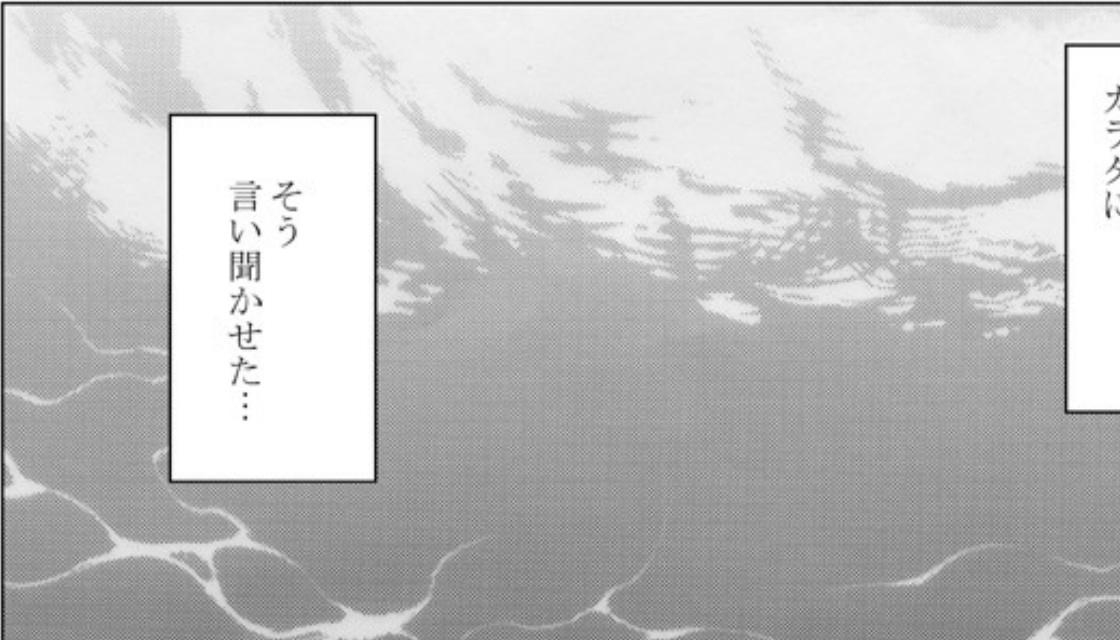
私は…  
負けてない…!!

私は  
やられたくて…

自ら危険地帯に  
とびこんでる  
わけじゃない!

またあのときみたいなの  
快感を味わいたくて…

痴漢囮捜査を  
やってる  
わけじゃない!



私は  
疼きがおさまらない  
カラダに

そう  
言い聞かせた…